

令和 4 年度事業報告

全国屈指の農業県千葉の維持・発展のため、農業産出額全国 2 位奪還を目標に行政や J A グループを始め、農業団体との更なる連携の下、オール千葉体制による総合的な農業支援に取り組んだ。

第 1 会議等の開催（法人運営事業）

1 会議の開催

（1）総会の開催

ア 通常総会 令和 4 年 6 月 30 日（木） 於：プラザ菜の花

（ア）令和 3 年度事業報告及び収支決算

（イ）令和 4 年度会費額

（ウ）役員の改選

（2）理事会の開催

ア 定例理事会 令和 4 年 6 月 10 日（金） 於：プラザ菜の花

（ア）令和 4 年度通常総会の開催

（イ）令和 4 年度通常総会提出議案

a 令和 3 年度事業報告及び収支決算

b 令和 4 年度会費額

c 役員の改選

イ 定例理事会 令和 5 年 3 月 29 日（水） 於：プラザ菜の花

（ア）令和 4 年度更正予算

（イ）令和 5 年度事業計画及び収支予算

（ウ）会員の入会

（3）定期監査の実施

ア 期 日 令和 4 年 6 月 7 日（火） 於：富里市農業協同組合

イ 内 容 令和 3 年度事業報告及び収支決算監査

ウ 監 事 根本 実（富里市農協 代表理事組合長）

2 県実施の監査等

（1）令和 3 年度財政的援助団体等監査

（地方自治法第 199 条第 7 項の規定による行政監査）

財政的援助団体等監査については、県からの補助金等の財政的援助や資本金、基本金その他これに準ずるものの 4 分の 1 以上の出資を県から受けている法人を対象に実施されており、当協会は平成 26 年度から対象団体に位置付けられていることから、本年度も法令に基づく県監査委員事務局監査を受検した。

ア 千葉県監査委員事務局 職員監査の実施（立入）

（ア）受検年月日 令和 4 年 12 月 5 日（月） 於：当協会事務所

（イ）監査内容 出納その他の事務書類及び事業の執行状況等調査の実施

（ウ）監査人 千葉県監査委員事務局職員

イ 本監査

- (ア) 受検年月日 令和5年2月3日(金)(於: 監査委員事務局監査室)
- (イ) 監査内容 令和3年度会計に基づく監査対象団体監査
- (ウ) 監査人 千葉県監査委員(2名)
川口委員(識見)、鈴木委員(議選)

3 委託業者等指名業者選定審査会

委託指名業者を公正かつ適正に選定することを目的として、「委託業者等指名業者選定審査会」を設置した。

- (1) 審査委員長 専務理事
- (2) 審査会の開催 (計3回)

ア 第1回指名業者選定審査会

- (ア) 審査年月日 令和4年11月4日(金)
- (イ) 委託内容 ・農地管理業務

イ 第2回指名業者選定審査会

- (ア) 審査年月日 令和5年1月20日(金)
- (イ) 委託内容 ・農地中間管理事業 潤井戸地区外 概算工事費算定業務

ウ 第3回指名業者選定審査会

- (ア) 審査年月日 令和5年3月13日(月)
- (イ) 委託事業名 ・農地中間管理事業に係るポスター掲出
・農地中間管理事業に係るラジオCM放送業務

4 税理士による業務運営の適正化

税理士との顧問契約により、公益法人としての適正な会計処理及び協会全体の業務運営の適正化に努めた。

- (1) 契約事務所: 加藤武人税理士事務所・株式会社加藤会計事務所(千葉市中央区)
代表取締役: 加藤武人、税理士(会計顧問): 石毛利和
- (2) 支援内容: 月次経理検査の実施、法定調書、税務申告等における会計支援、公益法人運営の指導及び支援等

第2 生産振興対策事業（公益目的事業1）

1 産地活性化促進事業

（1）園芸産地強化事業

国内外の産地間競争が激化する中、量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制の生産・販売力強化の取組が求められている。

こうした状況に対応するため、平成26年度以降、本県の主要園芸7品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも、だいこん、キャベツ、きゅうり）において、各品目別協議会を設置した。また、産地連携が可能な地域品目である、すいか、やまといも、レタスについても、既存の協議会（すいか、やまといも）や新たに設置した協議会（レタス）による取組を平成30年度から開始した。

しかしながら、本県野菜の産出額は平成28年には1,927億円あったものが、令和3年は1,280億円となり、5年間で3割以上の減少となるなど、厳しい状況が続いている。

そこで令和4年度は、トマト、ねぎ、にんじん、さつまいもの4品目を強化品目に位置付け、出荷規格統一の検討や販売促進活動に加え、これまで以上に生産力強化に重点を置き、産地振興に向けて取り組んだ。

また、令和4年10月に県内主要野菜産地のJA、県、全農千葉県本部と、今後の品目別協議会や各産地の取組等について意見交換会を開催したところ、各品目で一番量を持っている主要JAが県内産地のリーダーとなり、園芸協会がリーダーと協議をしながら関係機関・団体と連携して取組を進めていくことや、各関係機関が役割分担をし、生産現場まで取組内容を共有する体制を再構築していくべきといった意見が出された。

このことから、強化4品目については主要JAの担当部長を各品目別協議会の部会長とし、産地とより密になって産地強化の取組を行っていくこととした。



主要JA等との意見交換会

ア 品目別協議会等の運営・設置

(ア) トマト協議会

目標：「県の優位性を生かした新たな販売と病害虫対策による生産拡大」

目標産出額（R7）：160 億円（令和 3 実績：92 億円）

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 産地間で出荷時の着色や品質の均一化を図るため、J Aや市場等を参集した販売検討会議を設置し、県共通の着色度合いや、県内各産地及び他県競合産地の品質チェック、規格統一に向けた協議等に取り組んだ。
- b ロットの集約による高単価販売を目指し、量販店で複数産地のトマトを集約した販売を試行した。
- c 春トマトの生産対策として環境モニタリング装置の導入試験を行ったほか、専門家を講師に迎え、現地でのコンサルティング研修会を実施した。また、産地全体での抑制トマトの生産対策として高温対策試験にも継続して取り組んだ。
- d 冬春トマトについては価格の下落が激しいことから、改めて本県産の今後のトマトのあり方を検討する「千葉県産トマトのあり方検討会」を開催し、関係機関の意見を集約した。
- e 連携意識の向上や取組強化を目的として、生産者代表を集めた情報交換会や、販売促進活動に参加した若手生産者を集めた意見交換会、生産性向上に向けてスマート農業の推進に係る現地検討会等を開催した。

《令和 4 年度の主な活動と成果》

a 生産力強化

抑制トマトの高温対策試験に継続して取り組み、技術実証及び検討会を実施した。

b 販売力強化

県内主要トマト産地の J A及び農業事務所等を参集し、課題等について意見交換した上で、「千葉県の地理的優位性を生かした高鮮度・高品質なトマト」を売りにした新たな販売に取り組むことを決定した。

また、「千葉県青果物近畿フェア」における県産野菜の販売促進活動を実施したほか、トマト販売方針に係る産地との協議を実施し、共通着色基準を決定した。

《今後の取組》

- a 抑制作においては、引き続き高温対策や病害虫対策を中心とした展示ほ等を設置し、生産量の維持拡大と品質の向上、販売ロットの拡大を目指した取組を行う。
- b 冬春作においては、「千葉県の地理的優位性を生かした高鮮度・高品質なトマト」を売りにした試験販売等、県内主要産地である J A長生をモデルに産地の復活に向けた生産・販売対策を行う。



トマト協議会



抑制トマト生産対策
中間検討会



春トマト共通
着色基準の目合わせ会

(イ) ねぎ協議会

目標：「簡素化規格の導入や生産対策による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：210 億円（令和 3 実績：138 億円）

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 4～5月出荷の初夏ねぎ（プレミアム夏ねぎ）の生産拡大を図るため、助成措置や技術支援（栽培マニュアル作成等）、先進地視察、市場内販促等に取り組んだ。また、県内共通デザインの出荷用段ボールやオール千葉仕様の販売促進資材（シール、スイングポップ）を作成した。
- b 初夏ねぎのオール千葉での生産に向け、栽培実証試験を実施していた東葛飾地域の生産者が、令和2年から出荷を開始した。
- c 作型ごとの栽培方法をまとめたマニュアルを作成・増刷し、県内全域の技術向上を支援したほか、重要病害である黒腐菌核病の対策試験を継続して実施した。また、東葛飾地域版マニュアルも新たに作成・配付した。
- d 秋冬ねぎにおいて、年内出荷比率を高めるための軟白部 27cm 出荷を継続して推進したほか、産地合同での市場内販促を実施した。
- e 加工業務用産地の育成に向け、生産者を対象とした研修会の開催や、関係機関を参集し、加工業務用ねぎの先進産地である秋田県を視察した。また、新型コロナの影響で加工業務用の需要が減少することを見込み、市場出荷と加工業務の両方に対応できる新規格を提案し、出荷を開始した。

《令和4年度の主な活動と成果》

- a 生産力強化
単収減少の大きな要因である湛水・病害虫対策について関係機関と協議し、早期定植作型などの排水対策試験の実施を支援した。また、安定生産に向けねぎ大苗栽培実証ほを設置し栽培技術を検討した。
- b 販売力強化
生産面積の拡大を目的に、一部の農作業を省略でき、また2024年物流問題に対応するため、段ボールの長さを短くし、11パレットに対応できる簡素化出荷規格について関係機関等と検討し、荷姿評価に係る箱詰試験や試験販売を実施した。さらに、生産者及び市場との意見交換会を開催し、新規格の導入に向けた前向きな評価を得た。

- c 加工業務用ねぎの産地育成に向けた生産支援
市場出荷と加工業務両方に対応できる新規格を引き続き提案し、取組が拡大した。

《今後の取組》

- a 近年の気候変動等による単収低下に対応するため、排水対策や大苗や中苗での機械定植試験を実施する。
- b 生産面積の拡大を目的とした簡素化出荷規格及び新規格の段ボールの導入を進める。
- c 加工業務用ねぎの生産拡大に向け、産地育成を進めるとともに、市場出荷と加工業務両方に対応できる新規格による販売を進める。



ねぎ大苗栽培実証ほ



千葉会での意見交換



生産者・市場との
意見交換会

(ウ) にんじん協議会

目標：「病虫害対策等の実施による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：150 億円（令和 3 実績：96 億円）

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 秋冬にんじんについては、産地ごとに出荷規格や出荷形態が異なることから、それらの統一化に向けた提案を行い、次の成果が得られた。
 - (a) 3 J Aにより出荷小袋の規格とデザインが統一された。
 - (b) 出荷規格について、L 級を先行して統一した。
 - (c) 東京都大田市場において、5 J Aによる合同販売促進活動を実施した。
 - (d) 春夏にんじんについては、本県で被害が問題となっている難防除害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策として効果の高い薬剤が明らかとなり、当該農薬メーカーとの連携により登録に向けた試験を実施し、申請手続を進めた。
 - (e) 出荷箱のデザインを統一することについて、関係 J Aの合意が得られた。

《令和 4 年度の主な活動と成果》

- a 生産力強化

病虫害（しみ症、ヒョウタンゾウムシ等）対策に係るチラシを作成し、配布した。また、北総地域広域選果場の設置研究会に出席し、関係機関とにんじん産地の推進方針について認識を共有することができた。

b 販売力強化

近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。また、千葉会根菜類部会において規格等の検討を行った。

《今後の取組》

春夏にんじんを中心に病虫害対策の取組を引き続き行う。また、生産量の維持拡大を図るため、各産地における課題解決に向けた取組を行う。



病虫害対策のチラシ

(エ) さつまいも協議会

目標：「労力や貯蔵庫整備への支援及び新産地の育成による生産拡大」

目標産出額（R7）：230 億円（令和 3 実績：188 億円）

《前年度までの取組と成果の概要》

- 競合する他県産地との差別化に向け、千葉県における品種別の販売方針を作成し、方針に基づいた計画的な生産・販売を進めたほか、他県産地の視察等による情報収集を行った。
- 主要等階級（M～3 L）の出荷規格を統一した。
- 生産面では、省力化対策を目的とした、作業機械の実演会、航空防除（無人ヘリ）用農薬登録拡大試験、労力対策ワーキンググループの設置等の取組を支援したほか、シルクスイートの食味向上に向けた試験等に取り組んだ。
- 販売面では、市場等の意見を踏まえて品種別販売方針を微修正し、適切な時期に販売促進活動を実施した。また、PR 資材として、チーバくんのスイングポップや品種別のミニポップ、ポスター、焼きいも袋を作成した。

《令和 4 年度の主な活動と成果》

a 生産力強化

作付面積の維持、拡大に向けて、新産地の育成に着手した（JA きみつ、JA 千葉みらい、JA ちばみどり、JA 市原市）。

なお、新産地に対しては取組の拡大を後押しするため苗を提供し、その後は現地巡回及び栽培研修会を3回実施した。

さらに、次作に向け、苗を自ら確保できない産地に対しては、県内の農業法人から健全苗を購入できる体制を整えた。

また、既存産地の生産拡大を図るため、主要JAにおいて産地課題検討会を開催し、労働力の確保及び貯蔵庫の整備等の課題を整理した。

b 販売力強化

べにはるかの販促資材（シール・ミニのぼり）を作成し、資材を活用した量販店での販促活動（さつまいもフェア）を行った。

《今後の取組》

- a 既存産地の生産拡大に向け、JA等と継続的に協議を行い、労力確保及び集出荷貯蔵施設に係る課題解決に向けた支援を行う。
- b 新産地の育成に向け、引き続き研修会を開催する。
- c 品種別の需要動向や生産状況を踏まえ、品種別販売方針の見直しを検討し、計画的な生産・販売を行う。
- d 県が今年度創設した、貯蔵庫等の整備を進める「さつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業」等の産地での効果的な活用を促し、生産量の拡大を図る。



新産地に提供した苗



栽培研修会



さつまいもフェア



販促資材のシールとミニのぼり

(オ) だいこん協議会

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 安定生産の継続に向け、連作による生育障害などを回避するため、産地の土壌分析を行い、改善対策を講じるための基礎資料とした。
- b 秋冬野菜として、産地 J A 等と連携し販売促進活動に取り組んだ。
- c 経営規模の拡大等に向けた省力化機械（引抜機）の実演を行った。
- d 取組産地等に対する情報収集及び県共通の販売促進資材の作成を行った。

《令和 4 年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(カ) キャベツ協議会

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 出荷量が減少する 1 月から 4 月の期間に安定生産が可能となるよう、品種の比較試験に取り組み、結果を産地や関係機関と共有した。
- b 秋冬野菜として、産地 J A 等と連携し販売促進活動に取り組んだ。
- c 加工業務用需要の拡大を受け、取組のメリットなどを検討するための研修会を開催した。
- d 加工業務用キャベツの栽培マニュアル（案）を作成した。
- e 県共通の販売促進資材（スイングポップ）を作成した。

《令和 4 年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。



企業と連携した量販店フェア



企業が提案したレシピ例



千葉県青果物近畿フェア

(キ) きゅうり協議会

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 単収向上に向けたハウス内環境制御技術の現地実証試験を実施し、CO₂施用効果が高いことを確認した。また、「みんなで学びあう施設園芸スマート農業研修会」を旭市、大網白里市で開催し、専門家によるコンサルティングを受けた。
- b 販売促進活動を支援するためポスターを作成し、「いいきゅうりの日プロジェクト」の販売促進活動を実施した。

《令和4年度の主な活動と成果》

a 生産力強化

環境制御技術の導入による単収向上を目指し、当該技術の産地への速やかな普及を図ることを目的に、東金市のほ場をモデルに専門家を講師に招き指導者向けの「スマート農業研修会」をオンラインで開催した（6回）。

b 販売力強化

販促活動用のポスターを作成した。また、「千葉県青果物近畿フェア」や企業と連携した量販店フェアを実施し、本県産の販売拡大を行った。



スマート農業（施設環境制御）
オンライン研修会



販促用ポスターの作成

(ク) レタス協議会

《前年度までの取組と成果の概要》

- a おおむね出荷規格がそろっている、J A安房・J A木更津市・J Aきみつで、選果基準表を作成した。
- b レタス協議会を開催し、産地や関係者での情報共有や先進地視察（香川県）を実施した。
- c J A安房・J A木更津市・J Aきみつで、共通デザイン出荷箱を作成した。
- d 県共通の販売促進資材（スイングポップ）を作成した。
- e 県産レタスをPRするための合同販促を実施した。
- f 他品目を含めた物流体制の構築へ向けた協議を実施した。

《令和4年度の主な活動と成果》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(ケ) すいかの産地連携の取組

《前年度までの取組と成果の概要》

- a 県産すいかをPRするための合同販促を実施した。
- b 若手生産者による現地検討会を開催した。
- c 県共通販促資材（スイングポップ、ポスター）を作成した。ポスターはレギュラー品（大玉）のほか、3倍体、小玉など3種類を作成した。また、コロナ禍における販売促進活動として、チーバくんシールを貼ったカットすいか袋を量販店に提供し、店頭での有利販売を促進した。

《令和4年度の主な活動と成果》

- a 一個玉すいかの販促資材として、すいか用エコバッグを再度作成し、直売所でのスイカ購入者に配付した。



すいか用エコバッグ



店頭での販促

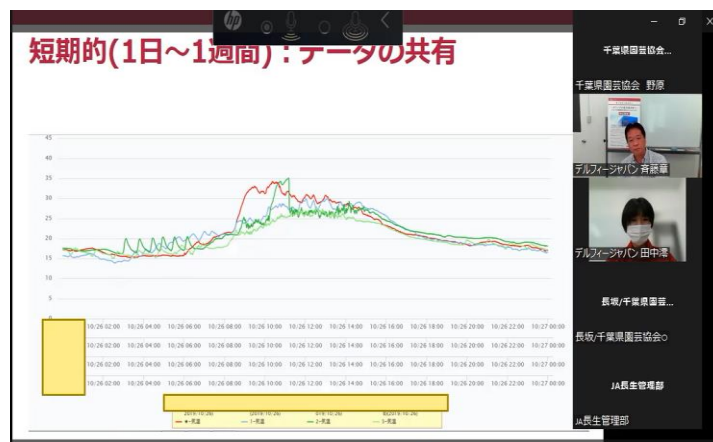
イ 産地人材育成の取組

各産地が将来にわたり「オール千葉」の視点を持って生産力・販売力の強化に取り組むことに資するよう、次の事項についてJAや県の担当職員を対象に人材育成研修を実施した。

(ア) 施設環境制御技術の普及に向けたスマート農業指導者向け研修会の開催 (全6回、オンライン)(継続)

令和3年度に引き続き、施設環境制御技術に係る専門的知識や指導技術を高め、当該技術の産地への速やかな普及を図ることを目的に研修会(全6回)を開催した。

なお、令和4年度の対象品目はきゅうり、いちごとし、新型コロナウイルスの拡大防止や移動時間の短縮を考え、多くの県内指導員が参加できるよう、オンライン方式で開催した。(令和3年度の対象品目はトマト、きゅうり)



スマート農業指導者向け研修会の様子(オンライン)

(イ) 労働力の確保に向けた県外の先進産地調査

期日：令和5年3月2日（木）～3月3日（金）

参加者：県内 JA（ちばみどり、長生、かとり）、農業者総合支援センター、全農
千葉県本部、千葉県、園芸協会 17名

内容：

○富山県の園芸生産拡大及び YUIME 株式会社を通じた労働力確保の取組

富山県では『プロ園芸団地』の育成を掲げており、富山県農業支援サービス活用協議会を設立し、一次産業の人材支援事業を担う YUIME 株式会社を通じて、特定技能実習生を活用した実証、労力支援を行い、労働力補完体系の確立を図っている。

○ J A 婦恋村及び PERSOL Global Workforce 株式会社の取組

群馬県婦恋村では、7月から10月末にかけてのキャベツ収穫作業が生産者の大きな負担となっていたため、特定技能人材を直接雇用している PERSOL Global Workforce 株式会社を通じて農繁期に特定技能人材の派遣を依頼し、短期的な労働力を確保している。また、J A 婦恋村は、自ら技能実習生の監理団体となり、産地の実態に応じた実習生の就労・生活支援や、産地の指導などを行っている。

(2) 生産技術向上対策事業

ア 第70回千葉県野菜品種審査会の開催

野菜優良品種の選定と野菜種子の品質改善を目的とした千葉県野菜品種審査会の開催により、優良品種の普及・定着を促進し、園芸農産物の品質向上を図った。

主催：千葉県、日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会

品 目	作 型	実施日	ほ場地
未成熟 とうもろこし	トンネル 栽培	R4.6.9	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・花き研究室 (館山市)
キャベツ	冬どり栽培	R5.1.20	農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 (旭市)
ほうれんそう	ハウス 春どり栽培	R5.3.10	農林総合研究センター 野菜研究室 (千葉市)

イ 各種共進会の開催

生産技術の向上や園芸生産者の意欲増進を目的とした各種共進会を企画した。

また、共進会の会場に一般消費者が多数来場可能な大型量販店等を利用することにより、本県園芸農産物の理解を深め、利用促進を図った。

品目	共進会名	開催期日	場 所
果樹	千葉なし（豊水）味自慢コンテスト	R4. 9. 3～9. 4	イオン津田沼店
果樹	第 14 回千葉県びわ共進会	R4. 6. 11	とみうら 元気倶楽部
花き	千葉県フラワーフェスティバル	R5. 1. 6～9	そごう千葉店

※千葉県植木共進会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

ウ 種苗生産事業

県からの委託事業を受け、県内生産に適した高品質な農産物を消費者に安定的に供給するため、千葉県が育成した品種等の種苗生産に取り組んだ。

農作物原種生産事業実績（県委託事業）

品 目	計画数量	生産数量	配付数量
落花生	1, 140 kg	1, 310 kg	517 kg
カンショ	3, 800 本	3, 850 本	3, 800 本
ヤマトイモ	1, 200 kg	1, 200 kg	1, 200 kg
サトイモ	750 kg	1, 320 kg	650 kg
イチゴ	1, 170 本	1, 100 本	797 本
ネギ	1, 600 本	2, 400 本	750 本
植木	1, 000 本	1, 396 本	832 本
ナシ	1, 080 本	917 本	812 本
ビワ台木	500 本	620 本	620 本

エ 果実等生産出荷安定対策

果樹経営の安定的発展のため、国の果樹経営支援対策事業を活用し、産地が策定した果樹産地構造改革計画に基づいて行う改植や園地の基盤整備等の取組を支援した。また、同事業を活用し、令和元年度の台風 15 号からの復旧を図るための改植や園地整備、昨年降雹被害を受けた梨の販売促進の取組についても支援を行った。

なし剪定枝については、発電用再生可能エネルギーとして活用するため、林野庁ガイドラインに基づく認定制度を継続して運用した。

(ア) 果樹経営支援対策事業

a 果樹経営支援対策事業の取組産地と取組内容（通常実施分）

産地協議会名	品目	実施内容	園地数 (件)	実施面積 (㎡)	備考
市原市果樹産地協議会	梨	改植	2	789	R 3 採択分
八千代市果樹産地協議会	梨	新植	1	209	
白井市梨産地協議会	梨	優良品種への改植、 新植、かん水施設	7	7,040	
印西市果樹産地協議会	梨	新植	1	430	R 3 採択分
印西市果樹産地協議会	かき	新植	1	821	
香取市果樹産地育成協議会	梨	新植、かん水施設	2	3,620	
一宮・岬梨産地協議会	梨	新植、放任園発生防 止対策	3	2,087	
房州びわ産地協議会	びわ	新植	2	2,057	R 3 採択分
安房柑橘産地協議会	みかん、 レモン	新植、防風ネット	5	3,951	R 3 採択分
木更津市梨産地協議会	梨	優良品種への改植	3	1,224	
合計			27	22,228	

b 果樹経営支援対策事業の取組産地と取組内容（災害対応分）

産地協議会名	品目	実施内容	園地数 (件)	実施面積 (㎡)	備考
房州びわ産地協議会	びわ	優良品種への改植	10	1,886	R 3 採択分
安房柑橘産地協議会	みかん、 レモン他	優良品種への改植	11	4,460	R 3 採択分
合計			21	6,346	

(イ) 自然災害被害果実加工利用促進等対策事業

事業実施主体	対象品目	事業内容
J Aいちかわ	なし	ひょう傷害の選別出荷 (区分流通、加工仕向け) ひょう傷果の有効利用と消費拡大の支援 (広報宣伝、キャンペーンの開催)

(ウ) なし剪定枝に係る認定制度の運用

林野庁のガイドラインに従い、剪定枝を集積・運搬する次の J A 等 2 団体（平成 28 年度認定）について運用を継続した。ただし、鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会については、当該協議会からの認定継続の申請がなく、令和 5 年 3 月 14 日をもって認定期間を満了した。

団体名	認定年月日	事業者の所在地
市川市農業協同組合	H28. 12. 12 R 1. 12. 12[継続] R 4. 12. 12[継続]	市川市
鎌ヶ谷市果樹剪定枝等 リサイクル事業推進協議会	H29. 3. 15 R2. 3. 15[継続] (R5. 3. 14 で満了)	鎌ヶ谷市

オ 表彰事業

県域でのコンクールをはじめ、県内各地域で開催される園芸品目対象の共進会や県民参加型のコンテストなど、公益的に広く開催されるものに対し、会長賞を交付し、園芸品目の奨励に努めた。

※公益社団法人千葉県園芸協会会長賞交付実績（12点）

※申請順

共進会・コンクール名称	開催場所	開催日
千葉県温室びわ共進会	J A 安房富浦支店	R4. 5. 6
千葉県びわ共進会	とみうら元気倶楽部	R4. 6. 9
富里市すいか共進会	富里中央公民館	R4. 6. 19
横芝光町夏期共進会	横芝光町役場	R4. 6. 16
千葉なし味自慢コンテスト	イオン津田沼店	R4. 9. 3～4
いちほら梨共進会	J A 市原市 東海営農センター	R4. 8. 5
八千代市園芸農産物共進会	J A 八千代市	R4. 11. 2
船橋市農水産祭農産品評会	J A 市川市船橋支店	R4. 11. 2
八街市産業まつり農産物共進会	八街中学校体育館	R4. 11. 26～27
千葉県フラワーフェスティバル 花き共進会	(株)そごう・西武 そごう千葉店 6 階催事場	R5. 1. 6～9
高校生フラワーデザインコンテスト	茂原ショッピングセンター	R5. 1. 21
千葉県青年農業者会議	千葉県教育会館	R5. 1. 19

(3) 担い手支援対策

青年農業者の確保・育成に向けた千葉県青年農業者等育成センターの取組として、就農支援活動を効果的に進めるために就農相談員を設置し、就農相談を実施するとともに、就農相談会、新規就農者交流会及び関係機関との会議を開催するなどの活動を、関係機関、農業団体等と連携の上、オンライン併用で実施した。

また、農業無料職業紹介所の認可事業所として、農業法人等の求人情報収集や就農希望者に対する就職斡旋を実施した。さらに、担い手の経営課題に対応するため、ちば農業経営相談所による農業経営に関する相談体制を整備した。

ア 就農支援活動

(ア) 新規就農支援活動連絡協議会の開催

第1回 令和4年4月13日(水) オンライン 事業説明

(イ) 就農相談活動

相談者数 210 人、238 件 (うち当協会分 202 人、230 件)

啓蒙資料の作成・配布 手引書の作成配布 1,500 部

(ウ) 就農相談会

a 雇用就農オンライン相談会

令和4年9月3・4日(土・日) 2日間

求人 16 社 求職 19 人 相談件数 58 件

b 農林水産就業相談会の開催

令和4年11月23日(水祝) 会場：千葉市

来訪者：26 名 相談件数 56 件

セミナー形式による就農経験者等の談話 講師 2 名

対面個別就業相談 10 ブース設置

オンライン相談 研修機関 4 ブース・農業委員会 14 ブース

(エ) 新・農業人フェアへの出展

第1回 令和4年 7月23日(土) 会場出展 相談数 48 件

第2回 令和4年10月23日(日) 会場出展 相談数 47 件

第3回 令和5年 1月14日(土) 会場出展 相談数 37 件

(オ) 千葉県認定就農者交流会の開催

令和5年3月3日(金) オンライン開催 体験ディスカッション

コーディネーター 1 名、パネラー 5 名、新規就農者 18 名

イ 農業無料職業紹介事業の実施

職業安定法に定める農業の職業紹介事業者として、県内で求人を希望する経営体の情報を収集するとともに、就農希望者の就農相談と併せて雇用関係を結ぶための活動を行った。また、随時法人・経営体への求人掲載意向を調査し、協会HPの求人情報を更新した。

(ア) 法人等求人件数 46 求人 (うち新規 8 求人)

(イ) 求職票提出者 9 名

(ウ) 雇用就農成立件数 2 件 (正社員 2)

ウ 農業経営者サポート事業の伴走機関としての相談対応

(ア) 相談体制の整備

経営専属スタッフを配置し、サテライト相談窓口を設置した。また、ホームページで研修会や専門家の情報等の周知を行った。

(イ) 相談対応

農業者や関係機関等からの法人化や経営継承等の相談に対応し、専門家派遣等の紹介や事業活用のための県との事前調整を実施した。

(ウ) 経営戦略策定に係る助言

経営改善戦略会議に8回参加し、経営戦略に係る助言、必要な確認、提案を行った。

2 販売対策事業

(1) 農産物販売促進活動

県産農産物の一層の販売促進を図るため、県及び農業団体等と一体となって、園芸品のPR活動や販売促進活動等を実施した。

ア 市場でのPR・販売促進活動

千葉県青果物近畿フェア

- ・期 日：令和4年11月26日～27日
- ・場 所：近畿圏スーパーマーケット 万代15店舗
- ・参加団体：県、JA全農ちば、JAきみつ、JA山武郡市、JA富里市、JAかとり、JAちばみどり、(公社)千葉県園芸協会
- ・内 容：近畿圏の消費者に対する県産秋冬野菜のPR
全農青果センター、大阪センター、万代との意見交換

イ 千葉県庁生活協同組合と連携した消費宣伝活動

県内各産地の認知度を高め農産物の販売促進を図るため、千葉県庁生活協同組合及び生産者団体である「千葉県野菜園芸組合連合会」、「千葉県果樹園芸組合連合会」、「千葉県花き園芸組合連合会」「千葉県いちご組合連合会」と連携し、千葉県庁中庁舎にて県産農産物の販売を行った。

実施時期	協力JA・産地 等	販売品目
4月	JA長生	「恋トマト」 ・ 「長生トマト」
5月	JA山武郡市	そら豆 ・ とうもろこし
6月・7月	JAちばみどり	「アムスメロン」 ・ 「貴味メロン」
2月	JAかとり	さつまいも
8月・9月	JAいちかわ ・ JAとうかつ中央	梨 ※降雹害への販売支援
10月	JA市原市	いちじく
12月	JAきみつ 花き生産者（南房総市、成田市）	カーネーション ・ キンギョソウ カラー ・ トルコギキョウ

ウ 「ちばエコ農産物」の認証に係る現地確認等業務（県委託事業）

当協会で、「ちばエコ農業」に関する指導・助言等を行う「ちばエコ農業」推進アドバイザー（23名）を登録し、県が実施する「ちばエコ農産物」の認証業務のうち、現地確認業務等を実施した。

(ア) 地域審査会への参画：延べ4名

(イ) 現地確認件数：105件（個人） 154件（産地） 合計259件（昨年比93%）

エ ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の実施

県産花き・植木の需要拡大を図るため、生産や流通、販売等に係る関係者と千葉県花き振興地域協議会を組織し、次の活動を行った。

(ア) 県産花きを使った生け花による花文化展示(R5.1.10～16 そごう千葉店)

(イ) 県産植木を使った日本庭園の展示(R5.2.10～2.23 イオンモール成田)

(ウ) 小中学校での花育体験の実施(R4.9～R5.1 28校 1,771名参加)

(エ) 高校でのフラワーアレンジ体験の実施(R4.10～12 12校 249名参加)

(オ) 高校生フラワーデザインコンテストの開催(R5.1.21 10校 21名)

(カ) 輸出向け植木の根洗い実証(R4.6～R5.3 匝瑳市 現地ほ場)

(キ) 生産者と実需者の交流促進(花マルシェの開催)(R5.3.4 道の駅しょうなん)

オ ちばの植木生産拡大事業（県委託事業）

県産植木の需要拡大に向け、県から委託を受けて輸出相談窓口の開設・運営、植木見本園の設置、植木生産のPR、植木研修会の開催等を行った。

(ア) 輸出相談窓口の開設

開設日：令和4年7月25日

- ・ 相談場所：(公社)千葉県園芸協会 事務所内（千葉市）
- ・ 相談実績：0件
- ・ 植木輸出情勢の報告 5件

(イ) 生産者と実需者を結ぶ植木見本園の設置

実需者との交流の場を提供することで、生産者と実需者のミスマッチを解消し、今後の植木の安定生産につなげるため、植木生産者の生産植木による見本園を設置。

- ・ 設置開始期間：令和2年11月1日から

(ウ) 植木生産のPR等

- ・ 植木見本園を活用し、供給可能樹種をPRするため、カタログを作成。

(エ) 植木研修会の開催

- ・ 植木見本園の紹介・概要説明、園内の見学及び情報交換、他

令和4年11月25日 出席者61名

(2) 農山漁村発イノベーション（旧：6次産業化）の推進

ア 相談窓口の設置

農山漁村発イノベーションサポートセンターを令和4年4月15日に開設し、延べ72件の農林漁業者等からの相談があり、電話、メール、対面等により助言を行った。

イ 支援対象者への支援

地域支援検証委員会で決定した6支援対象者に、地域プランナーを派遣し、支援を行った。派遣実績は、延べ29回で、そのうち、地域プランナーによるものが25回、中央プランナーによるものが4回であった。

ウ 交流会の開催

2月8日にホテルプラザ菜の花において「お酒とおつまみ交流会」を開催した。参加者は78名で、参加者のうち、農林事業者が11者、醸造事業者が4者、農林水産物加工事業者が4者、関係機関・指導団体等が19者であった。

エ 人材育成研修会の開催

1月18日、25日、2月1日にホテルプラザ菜の花において、農福連携、衛生管理、農家レストランの経営等の内容で人材育成研修会を開催した。

受講申込18名で、出席者は延べ34名であった。4受講者から6次産業化等の相談を受け支援を行った。

3 食育促進事業

(1) 千葉の農産物「クリアファイル」の作成配布

食育活動が地域に根ざした継続的な取組として定着するよう、各地域での食育活動に取り組む小学校を対象とした教育機関や生産者団体等に対し、県産農産物を紹介した印刷資材や教材等を提供した。

ア 主な配布先 29団体(市町村・学校給食センター等 17団体、小・中学校 12校)

イ 配布実績 8,109部(上限300枚、先着順により、希望数を提供)

4 情報活動事業

(1) ホームページによる情報発信

協会ホームページにより、以下の情報を発信した。

ア 組織概要：定款、役員名簿、会員名簿、事業計画・収支予算、事業報告・収支決算など

イ 生産者団体(野菜連・果樹連・花き連・植木連・いちご連)のページを作成し、組織概要、活動に関しての情報提供など

ウ 各種事業の活動紹介、事業案内、流通情報、農地情報、農地中間管理事業内容、集積推進状況など

エ 主催行事(共進会、フェスティバル等)の紹介など

(2) 機関紙「千葉の園芸」の発行

機関紙「千葉の園芸」を毎月発行し、技術情報や行政情報、優良産地の取組事例などを紹介した。

ア 発行日：毎月1日(全6頁)

イ 発行方法

(ア) 協会ホームページへの掲載

(イ) 紙媒体での作成(希望者のみ) 発行 200部/月

ウ 配付先

会員、県内生産者、卸売市場関係者、行政関係部署

第3 野菜価格補償事業（公益目的事業2）

本事業は、主要野菜を計画的に生産出荷する産地において、市場価格が下落した際に、その減収となった差額を生産者に補給することで、再生産可能な経営を維持し、消費者に青果物を安定的に供給することを目的としている。野菜生産出荷安定法における「野菜指定産地」を対象とした指定野菜価格安定対策事業に準じ、園芸協会では、県単事業の（1）千葉県青果物価格補償事業と、国庫事業の（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を担当している。

1 令和4年度の青果物に係る生産・販売概況

令和4年度春作は、4月の不安定な天候、それ以降の記録的な高温により、青果物の入荷量は前年並み～やや減で推移した。特に4月のだいこんやキャベツは前年より入荷量が少なく、単価は前年を上回った。他方、にんじんは平年を上回る入荷があり、単価は前年を下回った。また6月にはきゅうり、なす、7月にはレタスの入荷量が増加し、単価は前年を下回った。

秋冬作については、9月は大きな天候被害はなかったものの、10月は強い寒気による大きな気温変動、11月は記録的な高温など不安定な天候で、入荷量が減少したにんじん、きゅうり、レタス、だいこん等で前年を上回る単価となった。

年明けは、全国的に気温は高めで変動が激しく日照時間は多かった。ほうれんそう、レタス、ねぎは、前年より入荷量が増加したため単価は前年を下回った。一方、天候不順の影響を受けた、トマト、にんじん、ブロッコリーは2～3月の入荷量が少なく、前年を上回る単価となった。

2 交付金の交付状況（事業年度ベース）

（1）千葉県青果物価格補償事業

トマトの7月上旬、ねぎの3月中・下旬、わけぎの5月中旬、サラダ菜の11月中旬～12月上旬等で販売単価が低調となり、補償交付金 35,054,583 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

キャベツ	352,448 円	ねぎ	6,569,699 円
ごぼう	1,176,883 円	ほうれんそう	1,359,674 円
だいこん	146,513 円	レタス（結球）	1,866,761 円
トマト	4,254,694 円	わけぎ	12,928,129 円
にんじん	18,538 円	サラダ菜	6,381,244 円
		小計	35,054,583 円

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

ア 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

ブロッコリーの11月中・下旬等で販売単価が低調となり、価格差補給交付金2,605,479円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

かぶ	0 円	ブロッコリー	2,462,739 円
そらまめ	0 円	ながいも以外の やまのいも	0 円
にら	142,740 円		
		小計	2,605,479 円

イ 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

10月中・下旬の夏秋キャベツ、11月下旬～12月中旬の冬キャベツ等で販売単価が低調となり、価格差補給交付金14,367,293円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

夏秋キャベツ	9,534,818 円	冬春トマト	8,282 円
冬キャベツ	4,029,883 円	夏秋きゅうり	2,578 円
春だいこん	608,020 円	冬にんじん	183,712 円
冬春ミニトマト	0 円		
		小計	14,367,293 円

3 研修会の開催

(1) 令和4年度第1回野菜価格安定対策事業説明会

- ア 期 日：令和4年7月1日（金）
- イ 開催方法：Web会議
- ウ 参集範囲：JA等
- エ 参加人数：40名
- オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要、及び事務手続き等
緊急需給調整事業の概要
収入保険との同時利用の概要

(2) 令和4年度第2回野菜価格安定対策事業説明会

- ア 期 日：令和4年9月29日（木）
- イ 開催方法：Web会議
- ウ 参集範囲：JA等、市町村、農業事務所
- エ 参加人数：45名
- オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要
価格高騰等を踏まえた野菜の生産流通動向について

第4 農地中間管理事業（公益目的事業3）

農業経営の規模拡大、農用地の集積・集約及び新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等により農地利用の効率化及び高度化を図るため、農地中間管理機構（以下「機構」という）として、農地所有者と耕作者の間に立って農地の貸借等を行った。

1 事業実績

（1）年度別実績の推移

令和4年度も新型コロナウイルスの影響下にあったが、感染対策緩和に伴い徐々に実地による説明会の開催等の推進が行われた結果、借入面積は前年度に比べ27%増の1,662ha、転貸面積は24%増の1,844haとなり、ともに過去最高となった。

区分	R2	R3	R4（前年比）
借受面積（ha）	927	1,311	1,662（126.7%）
転貸面積（ha）	986	1,489	1,844（123.8%）

（2）令和4年度の実績

ア 農地の借受、転貸の状況

区 分	農 地		
	件 数	面 積	累計（H26～R4）
借受	3,428件	1,662ha	8,580ha
転貸	961件	1,844ha	7,954ha

イ 転貸先の状況

担い手（認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者）への転貸としては、件数が691件と約7割、面積が1,634haと約9割を占めた。経営体としては個人が808件（1,171ha）、法人が153件（673ha）となった。

転貸先	経営体数	転貸面積(ha)
(1) 個人	808	1,171
ア 認定農業者	386	793
イ 認定新規就農者	34	19
ウ 基本構想水準到達者	140	195
エ その他	248	164
(2) 法人	153	673
ア 認定農業者	123	606
イ 認定新規就農者	5	3
ウ 基本構想水準到達者	3	18
エ その他	22	46
(1) + (2) の合計	961	1,844

ウ 一括方式の導入状況

改正農地バンク法により農地中間管理事業の手続き簡素化として農用地利用集積計画一括方式（以下「一括方式」という。）が創設されている。令和３年度と比べ、従来方式との面積比については１６ポイントの増加となっており、一括方式の導入が進んでいる。

区分	Ｒ３			Ｒ４		
	市町村数	面積(ha)	面積比	市町村数	面積(ha)	面積比
従来方式	34	920	62%	31	658	46%
一括方式	31	569	38%	31	769	54%

エ 円滑化事業一括承継

令和２年度から施行された改正法により、円滑化団体と機構の統合一体化を円滑に進める経過措置として、令和２年度から令和４年度までの３年間に限り、円滑化団体が農地売買等事業のために貸借をしている農地の権利義務を機構が一括で承継することができることとなっており、本年度は過去最高の４１７haとなった。

年度	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４
面積(ha)	１４	１９	４１７

オ 業務委託の状況

機構業務の一部を市町村、法人及び土地改良区に委託し、農地集積、耕作放棄地対策を推進した。

（ア）委託先及び委託内容

委託先	委託内容
22 市町村 ２ 法人 11 土地改良区 （佐倉市、八街市、印西市、富里市、栄町、香取市、神崎町、多古町、山武市、横芝光町、茂原市、一宮町、長生村、白子町、長南町、いすみ市、館山市、鴨川市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、成田市農業センター、南房総農業支援センター、市原市海上土地改良区、市原市中高根土地改良区、戸田中央土地改良区、市原市佐是土地改良区、東葛北部土地改良区、印旛沼土地改良区、両総土地改良区、長生郡長南町東部土地改良区、安房中央土地改良区、天羽土地改良区、梶山堰土地改良区）	①相談窓口 ②出し手・受け手の掘り起こし ③借受予定農用地の現地確認 ④出し手・受け手との交渉 ⑤契約締結に係る事務支援

（イ）委託費の総額

精算額 ： ４５，８３４，１２１円

2 会議の開催

(1) 農地中間管理事業評価委員会の開催

農地中間管理事業の適正な実施を図るため、事業に対して客観的かつ中立公正な判断ができる者を委員とした評価委員会を設置し、事業実施状況を評価してもらい、各委員の意見を集約し、ホームページで公表するとともに理事会へ報告、検討の上、事業推進に反映させた。

期 日：令和4年6月20日（月）（書面開催）

出席者：委員4名、事務局4名

内 容：令和3年度農地中間管理事業実施状況及び実績等に係る資料を送付し、意見を聴取した。各委員からいただいた意見等は以下のとおり。

ア 制度改正によるいわゆる「一括方式」の導入を更に進めていただきたい。

イ 市町村・土地改良区などへの業務委託も含めて、関係機関との連携強化を図り、各地域の実質化した人・農地プランの策定支援を進めていただきたい。

ウ 農家への一層の周知PRを図っていただきたい。

エ 農地中間管理事業を活用し、優良な経営体を育成することが大切であり、様々な営農を支援するため、農地耕作条件改善事業等を活用した農地の集約を一層進めていただきたい。

(2) 農地中間管理事業運営委員会

農地中間管理事業の円滑な推進を図るため、各地域の農業士・指導農業士等を委員とした運営委員会を設置し、意見交換を行った。

期 日：令和5年3月16日（木）

場 所：千葉県教育会館3階 304会議室

出席者：委員12名、関係機関5名、事務局4名

内 容：令和4年度農地中間管理事業実施状況及び実績の説明と令和5年度からの基盤法等の一部改正及び「人・農地プラン」の法定化による「地域計画」について説明し、意見交換を行った。運営委員からいただいた主な意見等は以下のとおり。

ア 中山間地域では、鳥獣害や担い手不足が深刻であり、集積・集約化が進まない。

イ 米価下落や資材等の高騰もあり地主、耕作者との賃料の交渉が難しくなっている。

ウ 今までの「人・農地プラン」の推進においても、市町村・地元は苦勞してきた。法改正による「地域計画」についても同様であり、現行の関係機関との体制ではとても厳しいので、市町村の動きが活性化するよう県や農地中間管理機構のブロック会議などを充実させてほしい。

- エ 農地中間管理事業に対して、いまだに十分な理解ができていない市町村もある。農地中間管理機構からの市町村に対する会議を充実させてほしい。
- オ 賃料支払い後の領収書発行までの処理を迅速に行っていただきたい。
- カ 賃料の領収書について、契約番号ごとの金額の記載ではなく、契約している地主名ごとで整理していただきたい。

(3) 本部と支部との会議

機構の役員・本部職員が、農地集積のコーディネートを現地で行う機構支部農地活用推進員と打合せを行い、実績を確認した。令和4年度は3回の開催となった。

各支部における問題点・課題等を解決し、農地流動化に向けて適切に進行管理した。

- ア 書類作成上の留意点、様式の見直しについて
- イ 取組における課題について
- ウ 令和5年度施行の改正法への対応について
- これらの課題についてそれぞれ対応することとした。

(4) 県・関係機関との会議等

開催日	内 容	出席団体等
6/3	【市町村農業委員会等職員研修・事業説明会】 ・ 県農地中間管理事業を活用した農地利用集積について	農業委員会、郡連
6/15～6/30	【農地利用集積関連事業の実務担当者向け説明動画配信】 ・ 機構集積協力金交付事業の概要 ・ 農地中間管理事業における事務等について ・ 農地耕作条件改善事業について ・ 人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業について ・ 耕作放棄地対策について ・ 農地中間管理事業に関連する事業について	市町村・農業委員会、円滑化団体、農業会議、県農協中央会、全農千葉県本部、県土連、土地改良区、日本政策公庫千葉支店、農林中金千葉支店、農業事務所 WEB配信
7/21	【新任農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会】 ・ 農業委員・農地利用最適化推進委員の役割と情報活動について ・ 農地法のあらましについて ・ 農地中間管理事業の概要について	農業委員会

10/5～3/17	【地域農地利用集積推進協議会】 ・農地利用集積の進捗状況 ・地域計画について (モデル地区、重点サポート地区の選定等)	市町村・農業委員会、土地改良区、農協、農業事務所等
11/24	【農地中間管理機構地方ブロック会議】 ・令和5年度農地中間管理事業関連予算概算要求の概要等 ・協議事項 農地中間管理事業に係る事務処理状況 農業経営基盤強化促進法等の一部改正への対応	各都県機構、農政局、全国農地保有合理化協会 WEB会議
10/25 3/24	【千葉県農地利用集積推進本部会議】 第1回 ・令和4年度の農地集積の進捗 ・今後の推進 第2回 ・令和4年度の農地集積の進捗について ・地域計画について ・令和5年度の農地集積等の推進について	県関係課、農業事務所、農業会議
10/20～ 11/29	【ブロック別農業委員・農地利用最適化推進委員研修会】 ・農地法と農業委員・農地最適化推進委員の使命 ・地域計画作成に向けた農業委員会の取り組み ・農地中間管理事業の推進について	農業委員会、農業事務所、県関係課、農業会議等 5ブロックにて開催(東葛飾・千葉、香取・印旛、海匝・山武、夷隅・長生、安房・君津)
11/15	【農業参入フェア 2022】 ・県ブースによる農業参入相談	各県等 25 団体 約 260 名
11/17	【経営力強化・農地集積シンポジウム】 ・地域計画の策定について ・農地中間管理事業事例講演	担い手たる農業者、農業委員、農地利用最適化推進委員、市町村等 約 300 名
1/10～2/2	【農地集積に向けた意見交換会】 ・農地利用集積の状況について	県、農業事務所 以下 7 市町に訪問

	・今後の地域計画について (業務委託の推進を含む)	東庄町、睦沢町、成田市、千葉市、旭市、市原市、九十九里町
1/13	【千葉県農地利用集積推進協議会】 ・令和４年度の農地集積の進捗について ・今後の農地集積等の推進について	県関係課、関係農業団体
2/8	【農地中間管理事業の業務説明会】 ・改正法の概要と県の対応方針について ・他都道府県の農地中間管理事業等に関する情報提供 ・農地中間管理事業の業務について	市町村・農業委員会、土地改良区、農業会議、成田市農業センター、南房総農業支援センター、県関係課、農業事務所 WEB会議

3 PR活動

農業者及び土地持ち非農家等への農地中間管理事業を周知するため以下の内容を実施した。

(1) 広報誌等への掲載

ア 市町村等広報誌への記事記載

市町村・農業委員会及び関係機関へは原稿案を送付し、記事掲載を依頼

イ 千葉の園芸（千葉県園芸協会広報誌）への記事掲載
(千葉県園芸協会ホームページ、会員への郵送)

(2) ラジオCMの実施

ア ニッポン放送：令和５年３月１６日（木）～３月２９日（水）

イ bayfm78：令和５年３月２１日（火）～３月２９日（水）

(3) 駅及び車両へのポスター掲出

ア 駅ばりポスター

県内４９の駅（ＪＲ）にて、令和５年３月２０日（月）～３月３０日（木）の内、各駅で７日間ポスターを掲出

イ 車両中張りポスター

京葉線及び県内路線（内房線、外房線、東金線、総武本線、成田線、鹿島線）にて令和５年３月２０日（月）から７日間及び６日間ポスターを掲出

4 関連事業

(1) 農地耕作条件改善事業

既に区画が整備されている農地の担い手等への農地集約を図るために必要な場合は、畦畔除去等による区画の拡大や暗渠排水等の簡易な整備を実施する。

・令和4年度の実施状況（機構が事業主体として実施した地区）

単位：千円

地区	事業期間	事業内容	総事業費	R4 事業費	R5 以降事業費
上高野 (八千代市) ※R3 繰越 含む	R1～R4	区画拡大 0.81ha 暗渠排水 0.81ha	定額 1,389	(493) 493	0
久住2期 (成田市) ※R3 繰越 含む	R3～R5	区画拡大 5.19ha 暗渠排水 5.34ha 湧水処理 2.00km	定額 8,614	(2,396) ※ 2,763	2,863
谷当 (千葉市) ※R3 繰越 含む	R3～R5	農業用排水施設 用水路 0.93km	定率 5,500	(4,900) 4,900	3,499
都川上流 (千葉市)	R3～R5	区画拡大 1.28ha 暗渠排水 0.60ha 湧水処理 1.02km	定額 2,464	(666) 666	256
今上1期 (野田市)	R2～R4	区画拡大 10.75ha	定額 4,707	(1,395) ※ 1,665	270
今上2期 (野田市) ※R3 繰越 含む	R2～R4	区画拡大 5.63ha	定額 2,184	(1,050) 1,050	0
我孫子3期 (我孫子市)	R3～R5	区画拡大 2.53ha 暗渠排水 4.52ha 湧水処理 1.12km	定額 6,300	(2,393) ※ 2,954	1,451
合計 7地区		受益面積 62.90ha	31,158	(13,293) 14,491	8,339

R4 欄 ※印：R5へ繰越あり 上段（ ）R4 支払額
定額・定率の総額・事業費は国費のみ

(2) 農地売買支援事業（農業経営基盤強化促進法）（収益事業）

空港関連事業

空港周辺農用地の買入れ、売渡し、管理、貸付け及び代替地の管理、譲渡等については、管理、貸付けのみ実施した。

ア 管理

市町村	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町、多古町	1 2 2 筆	161,954 m ²

イ 貸付け（上記管理面積の内）

市町村	耕作者	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町	1 4 人	3 5 筆	57,766 m ²

第5 組織力強化対策事業（共益事業）

1 組織活動支援事業

県内生産者の組織化を促進することにより、経営力の向上を図るとともに、安定した品質での園芸農産物の供給力を高めるため、生産から販売面までの生産者の自主的組織活動を支援した。

（1）事業の支援内容

- ア 消費拡大事業（製品の理解促進、イベントの開催、出展、共進会等）
- イ 担い手対策事業（研修会、講演会等）
- ウ 各種連合会の部会活動の推進

（2）実施内容

ア 野菜関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉県「秋冬の陣」近畿フェア	令和4年11月26日～27日	(株)万代 15店舗 (本社：東大阪市)
販売拡大資材作成・配布	令和5年3月	「千葉の園芸」クリアファイル 8,000部
県庁生協と連携した消費宣伝活動	令和4年4月～令和5年2月 (トマト、そら豆、とうもろこし、アムスメロン、貴味メロン、さつまいも)	県庁内生協店舗 JA長生、JA山武郡市、JAちばみどり、JAかとり

イ 果樹関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉なし生産販売対策会議	令和4年7月11日	千葉市
なし販売促進資材作成・配布	令和4年7月～8月	ポスター 4,000部 シール 30,200枚
千葉なし出荷反省会	令和4年11月10日	千葉市
なし現地研修会 スマート農業技術の開発・実証についての講演 収穫台車ロボット実演会 抜根作業実演会	令和4年12月6日	農林総合研究センター
なし研究部研修会 管理研修会 リーダー研修会 現地研究会	令和4年6月20日 及び11月22日 令和4年11月22日 令和4年6月20日 及び11月22日	農林総合研究センター 〃 農林総合研究センター

びわ現地研究会 ドローン防除技術現地 検討会 びわ研修 ドローンを用いたカメ ムシ類防除、せん定講習	令和4年5月19日 令和4年9月27日	南房総市 館山市
かんきつ現地研究会	令和4年10月12日	南房総市、農林総合研 究センター
県庁生協と連携した消費宣 伝活動 ※なしの販売に関しては降雹 害への販売支援を行った。	令和4年8月～10月 (梨、いちじく)	県庁内生協店舗 J A いちかわ、J A とうかつ中央、J A 市原市

ウ 花き関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
環境制御技術に係る研修会	令和4年10月31日	J A 安房管内及びWeb
千葉県フラワーフェスティ バル	令和5年1月6日 ～9日	そごう千葉店
千葉県産花き市場展示PR	令和5年3月6日 ～10日	東京都大田市場
部会活動の推進	通年(カーネーション、鉢 物、球根切花、洋ラン)	全域
ジャパンフラワー強化推進 プロジェクト事業の取組	通年	全域
県庁生協と連携した消費宣 伝活動	令和4年12月 (カーネーション、キン ギョソウ、カラー、 トルコギキョウ)	県庁内生協店舗 J A きみつ 花き生産者(南房総市・ 成田市)

エ 植木関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
生産者と実需者を結ぶ見本 園の設置	令和2年11月から 設置開始し3年目	協会種苗センター(長生村) 全7組合が参加
見本園を活用した意見 交換会	令和4年11月25日	協会種苗センター(長生村)
植木優良種苗等の配付斡旋	令和4年11月	協会種苗センター(長生村) 希望する3組合に配付
日本庭園の展示 (ジャパンフラワー強化プロジェク ト推進事業)	令和5年 2月11日～23日	イオンモール成田 東金市植木組合

オ いちご関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
いちご研修会	令和４年７月８日	のぎくプラザ
いちご研修会（県外）	令和４年１２月１～２日	埼玉県、栃木県
原種苗委託増殖事業	令和４年１０月	成田市・長生村
コロナ対策周知資材の データ作成	令和４年１２月	ポスター等

２ 活動促進事業

以下の団体に取り組む活動を支援し、連携強化を図った。

- （１）千葉県農業者総合支援センター（会員）
- （２）一般社団法人千葉県農業会議（会員）
- （３）千葉県農業用廃プラスチック対策協議会（会員）
- （４）千葉県花き振興地域協議会（協議会事務局／運営・支援）

正味財産増減計算書
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	575,172	575,173	△ 1
特定資産運用益計	575,172	575,173	△ 1
受取会費			
正会員受取会費	36,781,320	36,761,750	19,570
賛助会員受取会費	1,380,000	1,360,000	20,000
受取会費計	38,161,320	38,121,750	39,570
事業収益			
農地賃貸料収益	395,982,350	320,627,958	75,354,392
農地管理収益	4,844,690	4,844,690	0
空港農地直接経費収益	219,900	219,400	500
事業収益計	401,046,940	325,692,048	75,354,892
受取補助金等			
受取国庫補助金	168,047,629	176,036,054	△ 7,988,425
受取県補助金	12,300,000	11,400,000	900,000
受取補助金等計	180,347,629	187,436,054	△ 7,088,425
受取負担金			
価格補償事業運営費	4,500,000	4,500,000	0
農業経営相談所運営負担金	1,200,000	1,200,000	0
受取負担金計	5,700,000	5,700,000	0
雑収益			
受取利息	171,144	66,230	104,914
雑収益	27,144	341,116	△ 313,972
雑収益計	198,288	407,346	△ 209,058
受取県受託金	71,446,979	73,033,674	△ 1,586,695
受取受託金	71,446,979	73,033,674	△ 1,586,695
受取県交付金	11,664,708	113,037,426	△ 101,372,718
受取交付金	11,664,708	113,037,426	△ 101,372,718
経常収益計	709,141,036	744,003,471	△ 34,862,435
(2) 経常費用			
事業費計	689,665,619	727,467,025	△ 37,801,406
管理費計	13,016,694	12,647,591	369,103
経常費用計	702,682,313	740,114,616	△ 37,432,303
評価損益等調整前当期経常増減額	6,458,723	3,888,855	2,569,868
当期経常増減額	6,458,723	3,888,855	2,569,868
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
過年度損益修正益	4,960,174		4,960,174
その他の経常外収益計	4,960,174		4,960,174
経常外収益計	4,960,174		4,960,174
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	4,960,174		4,960,174
税引前当期一般正味財産増減額	11,418,897	3,888,855	7,530,042
法人税、住民税及び事業税	497,300	438,900	58,400
当期一般正味財産増減額	10,921,597	3,449,955	7,471,642
一般正味財産期首残高	110,234,222	106,784,267	3,449,955
一般正味財産期末残高	121,155,819	110,234,222	10,921,597
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産期末残高	150,000,000	150,000,000	0
III 正味財産期末残高	271,155,819	260,234,222	10,921,597

正味財産増減計算書内訳表
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計	合計
	公益目的事業 会計	生産振興対策 事業(公1)	野菜価格安定 事業(公2)	農地中間管理 事業(公3)	共通	小計	農地元質支援 事業(収益事 業)	組織力強化対 策事業(共益事 業)	小計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益										575,172	575,172
特定資産受取利息										575,172	575,172
特定資産運用益計											
受取会費											
正会員受取会費		16,240,660	200,000	1,900,000	50,000	18,390,660		1,063,000	1,063,000	17,327,660	36,781,320
賛助会員受取会費			15,000		675,000	690,000				690,000	1,380,000
受取会費計		16,240,660	215,000	1,900,000	725,000	19,080,660		1,063,000	1,063,000	18,017,660	38,161,320
事業収益											
農地賃貸料収益				395,579,527		395,579,527	402,823		402,823		395,982,350
農地管理収益							4,844,690		4,844,690		4,844,690
空港農地直接経費収益							219,900		219,900		219,900
事業収益計				395,579,527		395,579,527	5,467,413		5,467,413		401,046,940
受取補助金等											
受取国庫補助金				168,047,629		168,047,629					168,047,629
受取県補助金		9,800,000				9,800,000	2,500,000		2,500,000		12,300,000
受取補助金等計		9,800,000		168,047,629		177,847,629	2,500,000		2,500,000		180,347,629
受取負担金											
価格補償事業運営費			4,500,000			4,500,000					4,500,000
農業経営相談所運営負担金		1,200,000				1,200,000					1,200,000
受取負担金計		1,200,000	4,500,000			5,700,000					5,700,000
雑収益											
受取利息		65	169,847			169,912	225		225	1,007	171,144
雑収益										27,144	27,144
雑収益計		65	169,847			169,912	225		225	28,151	198,288
受取県受託金		69,961,879	1,485,100			71,446,979					71,446,979
受取受託金		69,961,879	1,485,100			71,446,979					71,446,979
受取県交付金		11,664,708				11,664,708					11,664,708
受取交付金		11,664,708				11,664,708					11,664,708
経常収益計		108,867,312	6,369,947	565,527,156	725,000	681,489,415	7,967,638	1,063,000	9,030,638	18,620,983	709,141,036
(2) 経常費用											
事業費											
役員報酬		1,399,200	1,399,200	6,373,080		9,171,480	522,120		522,120		9,693,600
給料手当		54,576,542	3,105,550	59,512,650		117,194,742	1,434,265		1,434,265		118,629,007
臨時雇賃金		4,426,561		4,722,708		9,149,269					9,149,269
退職給付費用		480,690				480,690	324,800		324,800		805,490
法定福利費		9,881,986	654,052	11,028,929		21,564,967	297,854		297,854		21,862,821
福利厚生費		184,142	14,194	228,723		427,059	24,010		24,010		451,069
旅費交通費		2,441,858	21,358	1,496,520		3,959,736	13,526		13,526		3,973,262
通信運搬費		861,409	197,704	4,993,356	7,370	6,059,839	73,923		73,923		6,133,762
通信広告料(事業)		170,500		4,015,000		4,185,500					4,185,500
機械装置減価償却費(事業)		904,257				904,257					904,257
消耗品費		1,288,754	97,377	2,579,988	649,805	4,615,924	105,184		105,184		4,721,108
修繕費		2,555,391				2,555,391					2,555,391
印刷製本費		1,445,400	99,000	95,348	21,340	1,661,088					1,661,088
資材費		7,780,652				7,780,652					7,780,652
会議費		133,500		145,120		278,620					278,620
光熱水道費		3,551,394		259,055		3,810,449					3,810,449
賃借料		3,426,672	130,806	9,768,302		13,325,780	347,150		347,150		13,672,930
諸謝金		3,083,055				3,083,055					3,083,055
報償費				182,000		182,000					182,000
租税公課		5,312,048	111,577	4,050		5,427,675	601,833		601,833		6,029,508

	支払負担金		30,000			50,000	80,000	300,000	250,000	550,000		630,000
	支払助成金								813,000	813,000		813,000
	委託費	6,294,033	713,563	54,726,433		61,734,029	104,796			104,796		61,838,825
	農地賃借料			399,393,775		399,393,775	402,823			402,823		399,796,598
	中間管理農用地管理費			6,450,600		6,450,600						6,450,600
	支払手数料	26,994	1,518	50,512		79,024	2,970			2,970		81,994
	雑費	189,323	57,266	245,175		491,764						491,764
	事業費計	110,444,361	6,603,165	566,271,324	728,515	684,047,365	4,555,254	1,063,000	5,618,254			689,665,619
	管理費											
	役員報酬									2,798,400		2,798,400
	給料手当									4,527,087		4,527,087
	退職給付費用									491,460		491,460
	法定福利費									2,782,680		2,782,680
	福利厚生費									54,111		54,111
	会議費									142,860		142,860
	旅費交通費									184,865		184,865
	通信運搬費									655,770		655,770
	消耗品費									508,969		508,969
	賃借料									635,392		635,392
	租税公課									7,432		7,432
	支払手数料（管理）									7,986		7,986
	委託費									200,922		200,922
	雑費									18,760		18,760
	管理費計									13,016,694		13,016,694
	経常費用計	110,444,361	6,603,165	566,271,324	728,515	684,047,365	4,555,254	1,063,000	5,618,254	13,016,694		702,682,313
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,577,049	△ 233,218	△ 744,168	△ 3,515	△ 2,557,950	3,412,384	0	3,412,384	5,604,289		6,458,723
	当期経常増減額	△ 1,577,049	△ 233,218	△ 744,168	△ 3,515	△ 2,557,950	3,412,384	0	3,412,384	5,604,289		6,458,723
2. 経常外増減の部												
（1）経常外収益												
その他の経常外収益												
過年度損益修正益		4,960,174				4,960,174						4,960,174
その他の経常外収益計		4,960,174				4,960,174						4,960,174
経常外収益計		4,960,174				4,960,174						4,960,174
（2）経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額		4,960,174				4,960,174						4,960,174
他会計振替前当期一般正味財産増減額		3,383,125	△ 233,218	△ 744,168	△ 3,515	2,402,224	3,412,384	0	3,412,384	5,604,289		11,418,897
他会計振替額	1,664,827					1,664,827	△ 1,664,827		△ 1,664,827			0
税引前当期一般正味財産増減額	1,664,827	3,383,125	△ 233,218	△ 744,168	△ 3,515	4,067,051	1,747,557	0	1,747,557	5,604,289		11,418,897
法人税、住民税及び事業税							497,300		497,300			497,300
当期一般正味財産増減額	1,664,827	3,383,125	△ 233,218	△ 744,168	△ 3,515	4,067,051	1,250,257	0	1,250,257	5,604,289		10,921,597
一般正味財産期首残高	44,511,042	△ 45,898,021	27,663,330	△ 3,265,092	11,682,452	34,693,711	9,684,588	△ 2,902,606	6,781,982	68,758,529		110,234,222
一般正味財産期末残高	46,175,869	△ 42,514,896	27,430,112	△ 4,009,260	11,678,937	38,760,762	10,934,845	△ 2,902,606	8,032,239	74,362,818		121,155,819
Ⅱ 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高										150,000,000		150,000,000
指定正味財産期末残高										150,000,000		150,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	46,175,869	△ 42,514,896	27,430,112	△ 4,009,260	11,678,937	38,760,762	10,934,845	△ 2,902,606	8,032,239	224,362,818		271,155,819

貸借対照表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	195,464,645	178,849,989	16,614,656
未収金	38,099,067	24,874,179	13,224,888
販売用農地(空港関連農地)	875,503,428	875,503,428	0
前払費用	148,500	148,500	0
農地耕作条件改善事業仮払金	5,366,500	4,964,800	401,700
流動資産合計	1,114,582,140	1,084,340,896	30,241,244
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	14,311,770	13,014,820	1,296,950
青果物価格補償事業引当資産	449,488,895	438,166,008	11,322,887
事業円滑化積立資産	150,000,000	150,000,000	0
特定資産合計	613,800,665	601,180,828	12,619,837
(3) その他固定資産			
機械装置	2,442,909	2,439,116	3,793
合理化事業 長期未収金	438,000	456,000	△ 18,000
保証金	30,000	30,000	0
外部出資金	350,000	350,000	0
その他固定資産合計	3,260,909	3,275,116	△ 14,207
固定資産合計	617,061,574	604,455,944	12,605,630
資産合計	1,731,643,714	1,688,796,840	42,846,874
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	76,897,550	63,164,751	13,732,799
未払費用	6,388,968	6,480,887	△ 91,919
未払消費税等	1,424,200	1,497,400	△ 73,200
仮受金	16,208,914	9,414,003	6,794,911
未払法人税等	497,300	438,900	58,400
担い手支援資金借入金	482,749	0	482,749
1年以内返済長期借入金	2,000,000	2,000,000	0
農地耕作条件改善事業仮受金	5,366,500	4,964,800	401,700
流動負債合計	109,266,181	87,960,741	21,305,440
2. 固定負債			
農業開発公社清算費用長期借入金	98,000,000	100,000,000	△ 2,000,000
退職給付引当金	14,311,770	13,014,820	1,296,950
青果物価格補償事業預り金	449,488,895	438,166,008	11,322,887
農地預り金	789,421,049	789,421,049	0
固定負債合計	1,351,221,714	1,340,601,877	10,619,837
負債合計	1,460,487,895	1,428,562,618	31,925,277
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	271,155,819	260,234,222	10,921,597
負債及び正味財産合計	1,731,643,714	1,688,796,840	42,846,874

貸借対照表内訳表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等会 計	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	118,569,397	25,224,650	51,670,598	195,464,645
未収金	30,754,377	7,344,690		38,099,067
販売用農地(空港関連農地)		875,503,428		875,503,428
前払費用	66,000	82,500		148,500
農地耕作条件改善事業仮払金	5,366,500			5,366,500
流動資産合計	154,756,274	908,155,268	51,670,598	1,114,582,140
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計				
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0		14,311,770	14,311,770
青果物価格補償事業引当資産	449,488,895			449,488,895
事業円滑化積立資産			150,000,000	150,000,000
特定資産合計	449,488,895		164,311,770	613,800,665
(3) その他固定資産				
機械装置	2,442,909			2,442,909
合理化事業 長期未収金		438,000		438,000
保証金	22,000	0	8,000	30,000
外部出資金		350,000		350,000
その他固定資産合計	2,464,909	788,000	8,000	3,260,909
固定資産合計	451,953,804	788,000	164,319,770	617,061,574
資産合計	606,710,078	908,943,268	215,990,368	1,731,643,714
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	75,917,637	0	979,913	76,897,550
未払費用	6,156,968		232,000	6,388,968
未払消費税等		0	1,424,200	1,424,200
仮受金	16,208,914	0		16,208,914
未払法人税等		497,300	0	497,300
担い手支援資金借入金	482,749	0		482,749
1年以内返済長期借入金		2,000,000		2,000,000
農地耕作条件改善事業仮受金	5,366,500			5,366,500
流動負債合計	104,132,768	2,497,300	2,636,113	109,266,181
2. 固定負債				
農業開発公社清算費用長期借入金		98,000,000		98,000,000
退職給付引当金	0		14,311,770	14,311,770
青果物価格補償事業預り金	449,488,895			449,488,895
農地預り金		789,421,049		789,421,049
固定負債合計	449,488,895	887,421,049	14,311,770	1,351,221,714
負債合計	553,621,663	889,918,349	16,947,883	1,460,487,895
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体助成金			150,000,000	150,000,000
指定正味財産合計			150,000,000	150,000,000
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)			(150,000,000)	(150,000,000)
2. 一般正味財産	38,759,020	8,032,182	74,364,617	121,155,819
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	38,759,020	8,032,182	224,364,617	271,155,819
負債及び正味財産合計	592,380,683	897,950,531	241,312,500	1,731,643,714

財産目録
令和 5 年 3 月 3 1 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	千葉銀行県庁支店 他	運転資金、未払金費用等	195,464,645
	未収金	千葉県、農地耕作者未払い 他	県補助金、県受託金、耕作者からの農地賃貸料等に係る未収金等	38,099,067
	販売用農地(空港関連農地)	農用地(全122筆)	収益事業販売用農地	875,503,428
	前払費用	高橋 成、(株)ニュー千葉 他	駐車場料金の前払金	148,500
	農地耕作条件改善事業仮払金	久住、我孫子、今上地区	農地中間管理事業農地耕作条件改善事業に係る仮払金	5,366,500
流動資産合計				1,114,582,140
(固定資産)				
	基本財産			0
	特定資産			613,800,665
	退職給付引当資産	千葉銀行 県庁支店	職員に対する退職給付金の引当資産	14,311,770
	青果物価格補償事業引当資産	千葉銀行 県庁支店	価格補償事業における事業資金の引当資産	49,488,895
		千葉みらい農協 中央支店	価格補償事業における事業資金の引当資産	400,000,000
	事業円滑化積立資産	千葉県債	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	100,000,000
		千葉みらい農協 中央支店	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	50,000,000
その他固定資産				3,260,909
	機械装置	機械装置(農業機械)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している資産(種苗)	2,442,909
	合理化事業 長期未収金	農地長期貸付者(1件)	収益事業における農地保有合理化事業のための資産	438,000
	保証金	(株)ニュー千葉	公益目的事業に使用する駐車場利用のための保証金	30,000
	外部出資金	全国農地保有合理化協会 債務補償事業出資金	農地保有合理化事業に係る出資金	350,000
固定資産合計				617,061,574
資産合計				1,731,643,714
(流動負債)				
	未払金	国、千葉県、市町村 他	補助金等返還、農地中間管理事業に係る市町村への業務委託費等の未払金	76,897,550
	未払費用	職員	嘱託職員及び日々雇用職員に対する翌月支給分未払給与	6,388,968
	未払消費税等	千葉東税署	課税所得に対する消費税	1,424,200
	借受金	国、千葉県	農地賃借料の未払いに関する補助金の借受金	16,208,914
	未払法人税等	千葉東税署、千葉県税事務所 他	収益事業に対する法人税	497,300
	担い手支援資金借入金	農地保有合理化協会	所有不明農地に関する供託への借入金	482,749
	1年以内返済長期借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金及び旧合理化事業1年以内返済金	2,000,000
	農地耕作条件改善事業仮受金	千葉県	農地中間管理事業農地耕作条件改善事業に係る仮受金	5,366,500
流動負債合計				109,266,181
(固定負債)				
	農業開発公社清算費用借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金	98,000,000
	退職給付引当金	千葉銀行県庁支店	職員に対する退職給付金の引当資産	14,311,770
	青果物価格補償事業預り金	千葉県、全農千葉県本部、JA 他	価格補償事業に係る造成資金	449,488,895
	農地預り金	農用地(全122筆)	収益事業販売用預かり農地	789,421,049
固定負債合計				1,351,221,714
負債合計				1,460,487,895
正味財産合計				271,155,819

財務諸表に対する注記

1 会計基準

公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日・内閣府公益認定等委員会）を採用している。

2 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定率法により減価償却を行っている。

（2）引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

（3）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	13,014,820	1,296,950	0	14,311,770
青果物価格補償事業引当資産	438,166,008	11,322,887	0	449,488,895
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	0	0	150,000,000
小計	601,180,828	12,619,837	0	613,800,665

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
1. 基本財産				
基本財産引当資産	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
2. 特定資産				
退職給付引当資産	14,311,770	(0)	(0)	(14,311,770)
青果物価格補償事業引当資産	449,488,895	(0)	(0)	(449,488,895)
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	(150,000,000)	(0)	(0)
小計	613,800,665	(150,000,000)	(0)	(463,800,665)

※青果物価格補償事業引当資産に係るその他注記、及び以下の資金等内訳については、別途資料により説明。

- （1）令和 4 年度野菜価格安定事業に係る資金内訳
- （2）令和 4 年度野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表
- （3）令和 4 年度野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

単位：円

科目	種類	数量	関連 事業	取得 年度	取得価額	減価償却 累計額	当期末 残高
機械 装置	ニブロ 掘取機	1 台	種苗	H26	312,120	312,119	1
	ニブロ ロータリー	1 台	種苗	H26	658,800	658,799	1
	バロネス ハンマーナイフモア	1 台	種苗	H26	509,760	509,759	1
	ウッドチップパー	1 台	種苗	H27	504,792	504,791	1
	超音波加湿器	1 台	種苗	H28	639,446	639,445	1
	土壌消毒器	1 台	種苗	H28	993,600	911,953	81,647
	ミニショベル	1 台	種苗	H29	2,103,600	1,748,168	355,432
	びわかん水装置	1 台	種苗	H29	756,000	628,263	127,737
	マルヤマモア(大型草刈り機)	1 台	種苗	H30	756,000	564,203	191,797
	冷風機	1 台	種苗	R1	228,420	163,110	65,310
	デリカ マニアスプレッダ	1 台	種苗	R2	786,720	395,211	391,509
	丸山 自走セット動噴	1 台	種苗	R2	289,080	145,219	143,861
	オーレック草刈り機	2 台	種苗	R2	488,400	245,349	243,051
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	160,820	30,662	130,158
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	178,530	21,274	157,256
	落花生掘取機	1 台	種苗	R4	568,700	13,554	555,146
合計		17 台	-	-	9,934,788	7,491,879	2,422,909

6 補助金等の内訳及び交付者

補助金等の内訳及び交付者については、次のとおりである。

単位：円

補助金等名称	交付者	当期末残高
園芸産地強化・連携支援事業補助金	千葉県	9,800,000
農地中間管理事業補助金	国及び千葉県	168,047,629
農地売買支援事業補助金	千葉県	2,500,000
(補助金) 小計	-	180,347,629
千葉県新規就農等支援事業交付金	千葉県	11,664,708
(交付金) 小計	-	11,664,708
農業経営相談所運営負担金	県	1,200,000
(負担金) 小計	-	1,200,000
合計	-	193,212,337

7 退職給付関係

(1) 退職給付債務及びその内訳

単位：円

退職給付引当金	14,311,770	職員に対する退職給付引当金
---------	------------	---------------

(2) 引当金の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

＜参考1＞令和4年度 野菜価格安定事業に係る資金内訳(会計年度ベース)

(令和5年3月31日時点の資金残高の内訳)

事業名	園芸協会に 造成されている金額 (県・全農・JA分)	(参考)		備考
		(独)農畜産業振興機構に 造成されている金額 (国費分)	合計	
千葉県青果物価格補償事業	263,599,760 円		263,599,760 円	
特定野菜供給産地育成価格差補給事業	137,996,483 円	70,654,497 円	208,650,980 円	
指定野菜供給産地育成価格差補給事業	26,404,750 円	26,404,751 円	52,809,501 円	
特別業務資金	21,487,902 円		21,487,902 円	
合計	449,488,895 円		546,548,143 円	

＜参考2＞令4年度 野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表(事業年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
キャベツ	5.1～7.31	608,000	12,008,000	9,065,186	2,942,814	309,910	309,910	299,070	11,708,930
	10.1～12.31	50,000	1,075,000	2,150,000	0	57,190	50,000	53,378	1,021,622
	小 計	658,000	13,083,000	11,215,186	2,942,814	367,100	359,910	352,448	12,730,552
ごぼう	10.1～12.31	77,000	3,770,690	3,076,182	694,508	10,030	10,030	491,169	3,279,521
	1.1～3.31	87,000	5,214,780	4,711,884	502,896	11,440	11,440	685,714	4,529,066
	小 計	164,000	8,985,470	7,788,066	1,197,404	21,470	21,470	1,176,883	7,808,587
だいこん	4.1～6.30	500,000	12,150,000	12,150,000	0	233,700	230,470	146,513	12,003,487
トマト	5.1～6.30	66,000	4,480,080	5,839,336	0	141,958	52,808	0	4,480,080
	7.1～7.31	58,800	4,582,872	5,630,642	0	63,176	58,800	4,254,694	328,178
	小 計	124,800	9,062,952	11,469,978	0	205,134	111,608	4,254,694	4,808,258
にんじん	6.1～7.31	350,000	12,974,500	13,038,676	0	328,870	320,730	18,538	12,955,962
ねぎ	4.1～6.30	426,000	36,414,480	34,874,649	1,539,831	327,000	274,160	1,696,393	34,718,087
	7.1～9.30	167,000	14,063,070	11,014,425	3,048,645	90,110	63,035	882,147	13,180,923
	10.1～12.31	154,500	11,992,290	8,546,894	3,445,396	151,085	96,560	718,253	11,274,037
	1.1～3.31	109,750	8,569,280	7,449,142	1,120,138	193,750	82,690	3,272,906	5,296,374
	小 計	857,250	71,039,120	61,885,110	9,154,010	761,945	516,445	6,569,699	64,469,421
ほうれんそう	9.1～12.31	23,000	3,003,110	1,959,404	1,043,706	21,931	14,974	1,164,386	1,838,724
	1.1～3.31	32,000	3,667,840	3,585,397	82,443	22,714	9,555	195,288	3,472,552
	小 計	55,000	6,670,950	5,544,801	1,126,149	44,645	24,529	1,359,674	5,311,276
レタス(結球)	4.1～5.31	70,400	3,073,664	2,054,729	1,018,935	92,628	66,770	9,675	3,063,989
	1.1～3.31	111,000	7,656,780	7,342,627	314,153	65,350	62,750	1,857,086	5,799,694
	小 計	181,400	10,730,444	9,397,356	1,333,088	157,978	129,520	1,866,761	8,863,683
わけぎ	4.1～5.31	71,100	13,433,634	5,117,108	8,316,526	39,423	37,668	6,695,303	6,738,331
	11.1～12.31	75,300	13,887,579	12,191,521	1,696,058	30,277	29,377	3,038,066	10,849,513
	3.1～3.31	31,800	6,689,130	5,242,444	1,446,686	18,538	17,165	3,194,760	3,494,370
	小 計	178,200	34,010,343	22,551,073	11,459,270	88,238	84,210	12,928,129	21,082,214
サラダ菜	4.1～6.30	292,000	21,853,280	18,948,127	2,905,153	175,602	175,602	0	21,853,280
	7.1～9.30	271,000	31,972,580	24,615,041	7,357,539	143,103	143,103	1,025,810	30,946,770
	10.1～12.31	209,000	27,725,940	17,251,403	10,474,537	149,630	149,630	3,429,024	24,296,916
	1.1～3.31	214,000	27,263,600	24,391,094	2,872,506	140,090	140,090	1,926,410	25,337,190
	小 計	986,000	108,815,400	85,205,665	23,609,735	608,425	608,425	6,381,244	102,434,156
合 計		4,054,650	287,522,179	240,245,911	50,822,470	2,817,505	2,407,317	35,054,583	252,467,596

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1)特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②－③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②－⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
かぶ	4.1～6.30	38,000	850,060	818,140	31,920	46,640	28,270	0	850,060
	10.1～12.31	39,000	909,090	909,090	0	89,760	25,900	0	909,090
	小 計	77,000	1,759,150	1,727,230	31,920	136,400	54,170	0	1,759,150
そらまめ	5.1～7.31	28,000	1,999,480	1,816,640	182,840	110,256	7,320	0	1,999,480
にら	5.1～6.30	161,000	9,051,420	8,164,800	886,620	31,480	26,648	0	9,051,420
	7.1～10.31	290,000	27,579,000	24,143,698	3,435,302	246,520	203,780	142,740	27,436,260
	11.1～12.31	31,000	4,391,770	4,816,780	0	42,168	29,184	0	4,391,770
	1.1～2月末日	35,000	5,107,200	5,399,040	0	41,216	34,944	0	5,107,200
	3.1～4.30	147,000	12,918,360	13,006,240	0	142,356	130,388	0	12,918,360
	小 計	664,000	59,047,750	55,530,558	4,321,922	503,740	424,944	142,740	58,905,010
ブロッコリー	10.1～12.31	99,000	6,227,100	3,833,347	2,393,753	52,024	51,976	2,043,330	4,183,770
	1.1～3.31	37,000	2,441,260	1,505,893	935,367	21,048	20,808	419,409	2,021,851
	小 計	136,000	8,668,360	5,339,240	3,329,120	73,072	72,784	2,462,739	6,205,621
ながいも以外の やまのいも	4.1～6.30	286,000	31,019,560	30,925,570	93,990	198,592	184,732	0	31,019,560
	7.1～9.30	477,000	50,819,580	50,138,550	681,030	267,632	247,292	0	50,819,580
	10.1～12.31	403,000	40,707,030	42,020,160	0	184,956	184,956	0	40,707,030
	1.1～3.31	171,000	16,816,140	17,701,200	0	112,892	94,344	0	16,816,140
	小 計	1,337,000	139,362,310	140,785,480	775,020	764,072	711,324	0	139,362,310
合 計		2,242,000	210,837,050	205,199,148	8,640,822	1,587,540	1,270,542	2,605,479	208,231,571

(2)指定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
夏秋キャベツ	7.1～10.31	1,814,000	35,445,560	28,149,822	7,295,738	1,371,250	1,358,940	9,534,818	25,910,742
冬キャベツ	11.1～12.31	980,000	18,071,200	13,249,595	4,821,605	396,790	396,790	3,587,351	14,483,849
	1.1～3.31	35,000	808,500	140,052	668,448	22,490	19,740	442,532	365,968
	小 計	1,015,000	18,879,700	13,389,647	5,490,053	419,280	416,530	4,029,883	14,849,817
春だいこん	3.16～6.30	353,000	7,356,520	6,659,552	696,968	311,850	282,190	608,020	6,748,500
冬春ミニトマト	5.1～6.30	3,000	325,260	309,450	15,810	11,040	3,000	0	325,260
	11.21～12.31	3,000	464,640	464,640	0	5,563	3,000	0	464,640
	1.1～2月末日	2,000	318,460	311,687	6,773	7,968	2,000	0	318,460
	3.1～4.30	2,500	370,250	360,561	9,689	8,938	2,500	0	370,250
	小 計	10,500	1,478,610	1,446,338	32,272	33,509	10,500	0	1,478,610
冬春トマト	5.1～6.30	29,000	1,687,800	1,149,994	537,806	95,692	17,460	8,282	1,679,518
夏秋きゅうり	10.1～11.30	10,000	727,300	693,162	34,138	13,105	4,065	2,578	724,722
冬にんじん	11.1～12.31	9,000	194,670	531,174	0	6,500	6,500	59,790	134,880
	1.1～3.31	33,000	840,180	1,368,926	0	6,500	6,500	123,922	716,258
	小 計	42,000	1,034,850	1,900,100	0	13,000	13,000	183,712	851,138
合 計		3,273,500	66,610,340	53,388,615	14,086,975	2,257,686	2,102,685	14,367,293	52,243,047

＜参考3＞令和4年度 野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳
(会計年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和3年度末 残高	4,181,174円	
②	令和4年度 積立分	4,813,464円	
③	令和4年度 返戻分	8,550,860円	
	令和4年度末 残高	443,778円	①+②-③

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1) 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和3年度末 残高	22,645,999円	
②	令和4年度 積立分	4,000,372円	
③	令和4年度 返戻分	5,602,247円	
	令和4年度末 残高	21,044,124円	①+②-③

(2) 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	金額金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和3年度末 残高	0円	
②	令和4年度 積立分	555,501円	
③	令和4年度 返戻分	555,501円	
	令和4年度末 残高	0円	①+②-③